

市民と歩む議員の会 議会報告

発行 市民と歩む議員の会 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 (吹田市役所内) TEL 06-6384-1231(代表)

吹田市議会議員(無所属)

ば ば 馬場けいじろう

みんなで創ろう
元気な吹田!!



連絡先

〒564-0041 吹田市泉町5-3-5 TEL 06-6389-8555 FAX 06-6389-8558
E-mail babakeijiro@gmail.com URL http://www.baba-keijiro.com

新型コロナウイルス感染症 への対応

馬場 吹田市においても高齢者、障がい者入所施設等の従事者に対して一斉にPCR検査が実施されることになったが、大阪市ではおおむね2週間に1度のサイクルで4回まで、大阪府でも2週間に1度の検査を実施する。本市でも同様の対応を取るべきである。

健康 無症状者への2週間に1回の検査の実施が感染の広がりを防ぐという科学的な知見がないこと、施設での日頃からの感染予防策がより重要であること、定期的な検査の実施が保健所の対応能力や検査機関を逼迫させること等から、3月中に1回のみでの検査とするものである。

馬場 入所施設だけでなく、通所施設においても多くのクラスターが発生している。市独自事業として、通所施設の職員も検査対象に加えるべきである。

健康 厚生労働省からの要請通知に基づき、検査を実施することとした。対象者の拡充については先ほど答弁した理由により、現時点では考えていない。

希望者のワクチン接種を円滑に

馬場 ワクチン接種については、集団接種と個別接種を併用できるよう調整中とのことだが、地域によっては身近に適切な会場やクリニックがない場合も考えられる。静岡市は高齢者のためにタクシー割引券を配布するそうだが、本市として対策は検討しているか。

接種 本市は市内全域が市街化区域で、医療機関も数多くある。普段から通院しているかかりつけ医など、近隣に医療機関があると考えられ、具体的な検討には至っていない。

馬場 集団接種の会場として、メイシアターや市立体育館などが選定されたが、使用許可を得ていたのに突然の電話一本でキャンセルを要請され活動に影響が出してしまうと、利用者から不満の声が挙がっている。駐

車場や未利用の市有地などにプレハブを建てることは検討しなかったのか。

接種 国からの通知に基づき、当初は3月下旬には接種を開始するスケジュールを想定しており、プレハブ等を建てる場合、建築確認申請の手続きや工事期間を勘案すると開始までに間に合わないと考え、具体的な検討には至らなかった。

科学的な根拠に基づく対策を

馬場 緊急事態宣言で公民館やコミュニティセンターが閉館になったが施設内で感染事例があったのか。

※他市では開館していた施設も多い。

健康 そのような事例は発生していない。

馬場 公共施設の利用の可否、学校での教育方法などについて、保健所は関与しているのか。

健康 市の施設や市主催事業等を運営する際に求められる感染対策の基本的な考え方を提示している。これらを踏まえ、各所管においてそれぞれ適切に判断しているものと認識している。

馬場 市民から不満の声が出るのは、科学的なデータが提示されない点、丁寧な説明がなされない点に原因があると考えます。改善を求めます。

危機 本市では多くの陽性者が確認されており、市民の感染リスクの低下を目的に、重症化リスクの高い高齢者の利用が多い公共施設を休館するよう対策本部会議で決定した。

本部会議の結果は速やかに情報発信するよう取り組んでいるが、伝え方の工夫や発信方法については、丁寧な説明に努めていく。

馬場 感染リスクが極めて低い公共施設を締め出された高齢者が、感染リスクの高い民間施設に流れ込む危険性もある。今回の措置が妥当だったかは十分に検証が必要である。

受動喫煙防止における

馬場 令和元年11月議会において、公園での受動喫煙防止について、市長から「公園での喫煙を控えていただく周知を初め、続いて公園内禁煙というルールを明確にして喫煙者に御理解を求めつつ、既に社会で大多数となった非喫煙市民のニーズに応えたい」との答弁があった。その後の進捗状況を示してほしい。

公園 必要に応じて看板を設置するなど、マナーの啓発を行っている。

馬場 市長答弁に則り、公園内禁煙というルールを明確にする段階に速やかに移るよう要望する。

喫煙所の煙対策

馬場 同じく、路上喫煙禁止地域に設置された喫煙所について、受動喫煙防止を目的とした改良が必要ではないかと質問したところ、国、府の動向や本市スモークフリー推進庁内検討会議での議論を踏まえ対応するとの答弁だった。現在の検討会議の状況を示してほしい。

審議監 スモークフリーの実現にむけた取り組みをさらに進めていくため、市長を本部長とする健康・医療のまちづくり推進本部において、健康寿命の延伸にかかる施策として具体化に向けた検討を行っている。

馬場 JR吹田駅北口の喫煙所については地域住民からの要望書も出されている。改正健康増進法では望まない受動喫煙の防止が謳われており、対策を講じないことは行政の不作为に当たるのではないのか。

審議監 改正健康増進法では屋外における喫煙は対象外であり、不作为には当たらないが、たばこの煙の害から市民を守るという観点で、喫煙所のあり方について、所管の環境部と連携しながら検討を進めていく。

スモークフリー実現への計画策定を

馬場 スモークフリーシティについては、行政計画が策定されていない。喫煙率を何%まで下げたいのか、その手法、目標期限など、市として示す必要がある。

審議監 スモークフリーシティは、究極的には喫煙者がゼロになることで達成されるが、喫煙者の減少は短期的に達成されるものではなく、中・長期的な視点も含めて取り組んでいく必要がある。

現在、庁内基本方針に沿った各室課における具体的な取組内容を集約しているところであり、令和8年度までの評価指標についても検討している。今後は、健康・医療のまちづくり推進本部に設けたスモークフリー推進幹事会において進捗管理を行っていきたい。

また、来年度策定予定の「健康すいた21（第3次）」にもその内容を反映させる。

馬場 JR吹田駅北口の喫煙所を改良すべきか、市長はどう認識しているのか。

市長 現場の話も聞いている。まず、喫煙所の必要性、その場所、そしてその構造、この三つの問題がJR吹田駅北口の場合は重なっている。

将来的に、スモークフリーシティの中に喫煙所はないはずである。ただ、どうしてもたばこを吸わないと体の症状が出るという方もいると思うので、今は暫定措置として一定の喫煙所は設けられているが、その構造については、他者に迷惑にならないことが非常に大事な点だと考えており、必要な対策は講じていく。

小中学校に関する諸課題について

馬場 施政方針に記されている「我が国の教育体制全体に関わる構造的な問題」とは何か。

学教 教育体制全般に関わる構造的な問題として、県費負担教職員制度として、市町村に人事権がなく、小中学校の教職員は市町村の職員としての自覚を持ちにくい等の課題が全国においてこれまでも指摘されてきた。

また、特に小学校において、学級担任が一人で運営を行い、いわゆる責任者は学校長一人であるという特有の課題があると考えている。

馬場 「本市の教育行政が向き合わなければならない課題」の詳細と、それを解消するためにどのような施策を検討しているのか。

学教 いわゆる団塊の世代の大量退職などによる教職員の若年化、出産休暇・育児休業等の増加に伴う講師の確保、ベテラン教員の減少における慢性的な管理職不足など、多岐に渡っている。教職員研修の充実や校長会との情報共有、人事権の移譲などの対応を考えている。

市長 問題や課題については、ただいま教育委員会から具体的に説明をさせていただいた。

先般、教育長が語った「全ての子供が明日も行きたいと思える学校と」というフレーズに、義務教育が果たすべき使命の数々、その全てが込められていると感じている。

その子供たちを迎える教師も含めて、明日も行きたいと思える学校となるよう、教育委員会と力を合わせて、一つ一つの課題の解決に取り組んでいく。

馬場 いじめ重大事案の発生と学校の対応の遅れについての原因、および「本市の教育行政が向き合わなければならない課題」について、教育長の認識を聞かせほしい。

教育長 令和元年6月に第三者調査委員会から提言が示されたいじめの重大事態については、担任のアンテナや意識が低く、いじめを見逃してしまったこと、学校として体制が不十分で、組織的な対応ができていなかったことなど、早期発見、早期対応に大きな課題があったものと考えている。

こうしたことから、子供たちを見守る複数の目を確保するための体制強化、GIGAスクール構想に基づく学習用端末を活用したいじめ防止相談ツールの構築、効果的な教職員研修、いじめ予防授業の実施などを取り組んでいるところである。

また、本市の教育行政が向き合わなければならない課題については、部長が答弁したとおり、学校現場の教職員の資質と指導力の向上が急務であると認識している。

教育現場の声を聞くべし

馬場 教育現場の声を市長が直接聞く場はあるのか。管理職や一般教職員、教職員組合などと意見交換等を行った実績があれば示してほしい。

市長 私自身としては、立場上、限られた教員と限られた機会では、これまで6年間、生の声を聞くことができなかった。そのことを非常に残念に感じてきたところである。このことは課題だと感じている。

馬場 ぜひ多くの教職員と意見交換すべきである。

長時間勤務の是正が最重要課題

馬場 ここまでの議論で、風通しの悪い職場環境、長時間労働という課題について市長からも教育委員からも問題提起されなかったことは残念である。

多くの教育関係者からの話を聞き、教職員の資質と指導力の向上には、長時間労働の解消が最も有効だと私は考えている。教材研究はもちろん、読書や異業種交流、自己啓発など人格、識見を磨くための時間が必要である。

勤務時間の適正化のための検討事項を示してほしい。

学教 教員一人一台相当のパソコン配備、出退勤管理システムの導入などのこれまでの取り組みに加え、令和3年度からは外部人材の部活動指導員の位置づけを改め、教職員の代わりに指導員だけで部活動や引率を行うことを可能とする。

また、事務作業に係る負担軽減を図るため、給食費の公会計化と併せて、学校徴収金の一括徴収を教育委員会事務局で行うことができるよう検討を進めている。

少人数学級の実現に向けて

馬場 令和7年度までに小学校の全学年で1学級の定員を現在の40人から35人以下に引き下げることになった。少人数学級の効果および実現に向けた課題について示してほしい。

教育監 児童一人ひとりに教員の目が行き届き、きめ細やかな指導につながることを期待される。また、児童が発言や質問をしやすい環境が創出できること、コロナ禍において教室内のスペースが確保できることな

ども効果として挙げられる。

教員の必要数の確保と質の担保、児童数の増加による教室数の不足等が課題であり、年次ごとの推計をもとに計画的に対応していきたい。

馬場 少人数学級の効果を認めるならば、本市で課題となってきたダブルカウント制度についても早期に導入すべきである。

※支援学級児童・生徒は通常学級でカウントをしないため、上限の40人を超える学級が生じている。

教育監 介助員等の人的支援及び環境整備に努めるとともに、支援学級在籍児童・生徒を含めた少人数学級の編成を実施できるよう国・府に要望していく。

中学校でも少人数学級が求められる

馬場 高槻市は2022年度から、明石市は2021年度から中学1年生の35人学級を導入する。本市でも中学校での少人数学級導入について検討すべきである。

教育監 本市の中学校においても、小学校と同様に、府の加配教員を活用した35人学級編成について、自校の実情を踏まえ実施している学校が一部にある。

しかし、学級増により各教科担当者の授業時数が大幅に増えること、少人数習熟度別授業の効果を重視する学校が多いこともあり、慎重に検討する必要がある。

市独自の予算で教職員の増員を

馬場 現状の教職員の人数のままで対応しようとすれば当然無理が生じる。少人数学級は児童生徒の教育環境の向上と教師の負担軽減が期待できるため、小学校での前倒し実施、中学校への少人数学級の導入のため市単費での教職員増員を実施すべきである。

教育監 本市は児童・生徒数が増加傾向にあり、教員や教室の確保の課題も多いことから、国に先行しての実施は考えていない。

なお、中学校では1校に1名、市費により非常勤講師を配置している。

市長 どれぐらいの学級人数が教育上適切なものか、議論がある。財務省が少人数学級実現のために予算をなかなかつけなかったのは、それが学力向上に直接影響しないという視点だったからだが、義務教育は学力向上のみならず、人格の形成、子供の成長を担っており、そういう意味では今の人数は多いと思っている。

教育委員会からの答弁のように、物理的、財政的に厳しいという問題があるが、それには立ち向かっていかなければならない。先行して実施するにも、吹田市独自の教育権限が必要だと考えている。

配備されたタブレット端末の活用

馬場 児童・生徒に一人一台のタブレット端末が配備され、本格的なオンライン学習が可能になった。その効果と課題について示してほしい。



教育監 緊急時においても学校と児童・生徒間のつながりを確保できること、学習動画の配信、学習支援ソフトの活用等により継続した学習が保証できることにある。また緊急時に限らず、ICT機器を利用することによる学習意欲の向上が期待され、様々な理由により登校が困難な状況にある児童・生徒の支援にも活用できる。

一方、自宅での履修を授業と認定した場合の授業に対する興味・関心、理解・習熟を適切に評価することなど課題も多い。社会性の伸長の含め、学校における教育の意義を改めて明確化する必要も生じると考えている。

馬場 タブレット端末の活用により、児童・生徒一人ひとりの習熟度や理解度に応じた課題設定も可能となる。児童・生徒の学力向上と教職員の負担軽減が期待でき、本市でも早急に導入すべきである。

教育監 現在は機器や導入ソフトの操作練習を実施している段階であり、個別に課題を設定するまでには至っていないが、将来的には学習用端末の活用により児童・生徒ごとに個別最適化された学習の提供が可能となるよう努めたい。

すべての児童・生徒に良好な学習環境を

馬場 施政方針に「本市の小・中学校の学力は全国でも高水準にある」とあるが、その要因はどこにあると分析しているのか。

教育監 学校において落ち着いて学習活動に取り組む環境が整っていることが学力を支える大きな要因であると考えている。また、保護者による基本的な生活習慣の定着や安定した家庭教育力、地域の皆様の協力によるところも大きいと認識している。

市長 教育委員会からの答弁のとおりだと思う。私は結果や状況については把握しているが、その要因、因子を分析したこともなく、客観的なデータを持っているわけでもないの、明確にはお答えできない。

馬場 教育監の答弁にあった「安定した家庭教育力」に含まれるか分からないが、学習塾の存在が非常に大きいと私は思っている。行政や教育委員会として認めたくないのかもしれないが、学力、特に受験に関する学力について、学習塾の存在は無視できない。

そうだとすると、経済的な理由で塾に通えない児童・生徒を支援することが必要となってくる。大阪市の塾代助成事業、教育バウチャー制度を参考に、本市でも検討を進めるべきではないか。

市長 学力向上については義務教育として教育の場で実施している。それを補完する意味の塾であれば健全だと思うが、学校には任せられないので塾で学力を上げる、そういう文化というのは違うと思っている。

この点については教育委員会と議論をした経過がない。学力のみを上げるところに税金を投入することは、それはそれで一つの考えなのだろうが、それがどうなのかということ、これから教育委員会とも議論したい。

馬場 親の収入によって子の学歴が決まっていくという話もあり、塾に通うかどうか教育格差にもつながってしまう現状がある。それを放置しておいていいのかという課題もあるので、ぜひ前向きに議論してほしい。

パークカフェの事業評価

馬場 千里南公園にて民間事業者によるカフェレストランの運営と駐車場の供用が開始されているが、この取り組みについての評価を示してほしい。

公園 各事業者の経年の経営状況は把握していないが、公園の魅力向上に寄与し、四季を通じて多くの方が公園を訪れるようになったと認識している。

公園利用者などへのアンケートを実施すべき

馬場 公園利用者や周辺住民へのアンケートなども実施されておらず、具体的なデータにもとづく効果検証が行われていないことは大いに問題がある。市民の貴重な財産を利用するにあたり、このようないい加減な事業の組み立てが許されるのか。

副市長 千里南公園のカフェと駐車場の整備をする前に、その整備方針や必要性について、議員や市民の方々にも周知を図って事業を実施している。

千里南公園の魅力向上や活性化に大きく寄与しているものと認識している。

馬場 事業の目的を否定しているわけではない。その目的が達成されているかどうかを、具体的・客観的に測る必要があるはずで、その手法をあらかじめ決めておかなかったのは不適切ではないかと質している。

公園利用者や周辺住民にアンケートを取り、それで満足の声が多いならば事業として高く評価することもできるが、現状では適切な評価ができない。

健康 = 健康医療部長 **危機** = 危機管理監
接種 = ワクチン接種担当理事（健康医療部）
公園 = 公園みどり担当理事（土木部）
審議監 = 健康医療審議官 **学教** = 学校教育部長

5月定例会は5月27日から6月28日まで開催予定

⇒「市民と歩む議員の議会報告」次号は7月中旬に発行予定です。

馬場けいじろうプロフィール

昭和52年9月28日生まれ
西吹田幼稚園、吹田第二小、吹田第六中、東大寺学高校、早稲田大学政治経済学部卒
平成27年4月 吹田市議会議員 初当選（現在2期目）
〈議会での役職〉
健康福祉常任委員会委員、議会広報委員会委員、議会運営委員会小協議会委員、都市計画審議会委員